

市長室から（6月15日記）

初夏に思うこと

今年の6月は、例年に比べ気温が上がらず、風の強い日が続いたように思いますが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

本州各地では、水不足という報道がされていますので桂沢ダムの水量をお聞きしましたところ、今年は水量も例年より多く心配な状況にはないということでした。

昨年11月から3月の雪も例年に比べて1.2倍の量が降ったのですから、そうでなければ納得がいきません。

水と大きく関係する市内の農作物も、米・玉ねぎ・小麦・リンゴなどすべてにおいて順調に生育しており、気温が低い割には良い傾向となっているようです。

さて、この時期になると道内はもとより全国的に山菜採りのシーズンを迎え、歩き慣れた山に気軽に入る方が多いと思いますが、心配されるのが熊の被害です。

ギョウジャニンニク・ササノコ・ウド・ワラビなど、美味しく料理してもらって楽しむのは私も好きですが、市内でも数カ所に熊の目撃情報があり、気を付けていただかなければなりません。

全国的に被害が発生しており、道内でも心配される状況にあります。

「備えあれば憂いなし」と言いますが、一番良いのは出会い頭とならないこと、つまり音が出るものを必ず持つていくことだそうです。

せっかくの楽しい山菜採り、しっかり準備をして出掛けるようにしてください。

また、この時期に心配なのが山火事です。

過去には、山火事が続いた年があり、タバコの火の不始末や畑でのたき火が原因でした。

山林火災は、多くの場合、大変な被害と鎮火させるための労力を必要とします。

絶対に起こさないよう、お互いに注意し合い、被害を出さないようにしましょう。

さて、市が今年度計画している建設事業も順調に進められています。

大きなものとしては、中央公園ステージの建て替え、榊町公営住宅5棟目の建て替え、新火葬場の建設工事などです。

中央公園ステージはお盆までの完成、公営住宅は今年と来年で19戸分、またその後の2カ年で20戸分をそれぞれ完成させ、その都度入居いただくこととしています。

また新火葬場については、今年夏の完成を目指していますが、その後試験運転を行い、11月の供用開始を考えています。

使い始める前には、見学会も行いたいと考えていますので、ご興味のある方は、ご承知おきください。

市内の各施設は、主に昭和40年から50年頃に建設された建物で、建て替え時期を迎えています。出来るものから徐々に進めていきたいと考えています。

その必要性や規模をしっかりと検討し、取り進めますので、市民の皆さんのご理解をよろしくお願いいたします。

北海道にとっては一番良い季節を迎えています。

今年から、国内のツアー客に加え、海外からのツアー客も若干ではありますが、市内に入ってきます。

触れ合う機会があれば、「お・も・て・な・し」の心で接していただければ幸いです。

（広報みかさ平成28年7月号に掲載したものです。）